

拾四貫文 等持寺領 賀州粟津上下保段錢
 三拾貫文 臨川寺領 賀州若州兩所之段錢
 壹貫文 松任修理亮殿 賀州石川之段錢
 貳貫四百文 毘沙門堂殿 賀州能美庄段錢
 八百文 屋代源藏人殿 能州西方村段錢
 四貫文 朝日孫左衛門殿 賀州額田庄段錢
 壹貫文 問注所殿 賀州石田保段錢
 四貫百拾五文 千秋刑部少輔殿 賀州熊坂庄段錢
 四貫九百廿文 春日社領 賀州小坂庄西方段錢
 拾五貫文 西部筑前入道殿 賀州北畠庄段錢
 壹貫文 日野前大納言御領 加州佐見保段錢
 四貫文 朝日近江守殿 加州額田庄段錢
 拾貫文 玉泉寺領 賀州德丸尾州味鏡分段錢
 壹貫九百辛文 三寶院御門跡領 能州上日新庄段錢
 五貫文 安富勘解由左衛門殿 勸修寺御門跡領
 壹貫五百文 中嶋次郎殿 加州郡家庄段錢
 拾八貫三百七拾五文 正親町家 加賀國是時庄之内
 宮永郷段錢

壹貫文 妙藏院 加賀國小泉保一分段錢
 壹貫五百文 鴨社領 丹波國三和庄公文職并
 賀州開發庄段錢
 壹貫五百六拾五文 大祥院殿 加賀國和氣保分段錢
 貳貫八百五拾文 相河彌三郎殿 加賀國村東方并
 松任成丸之段錢
 參貫七百九拾文 結城左近將監 加賀國河内庄段錢

康正三年 丁丑
 長祿元年 九月廿八日 紀元二二一七
 改元

八月六日。假揭
 【洞雲寺文書】 鳳至郡
 毒蛇池之近邊、東南へ限大道、西へ西光寺山尾、北へ小流
 限、爲寺院境内、永代令寄進者也。仍狀如件。
 山田修理將監
 長祿元年丑八月六日 秀次 在判
 寄洞雲寺
 (本文書は山田秀次が鳳至郡洞雲寺に寺地を寄進し
 たることをいへり。然れども長祿元年は九月廿八日

の改元なるが故に、本文書の假作たること知るべし。

長祿二年 戊寅 紀元二二一八

二月五日。國永道本、珠洲郡本光寺に、若山莊
西海浦國永名の下地を寄進す。

【本光寺文書】 珠洲郡 九〇六

奉寄進 本光禪寺之下地之事

合參者 在所國永名之内
谷田同石橋細島壹所

右件田地者、永代寄進申處實也。但彼田半分へ、先孝道舜^(考)
禪門并明音禪尼之爲靈供、殘半分者、道本并見祐之爲靈
供分、於子々孫々不可有相違者也。仍爲後證寄付狀
如件。

長祿貳年二月初五日

若山庄西海馬繫住人 國永道本 在判

二月廿二日。和田光章、鹿島郡永光寺に、下地
を寄進す。

【永光寺文書】 鹿島郡 九〇七

奉寄進下地 一事

合百疋

右下地者 菩提洞谷永光寺 修理、永
代寄進申上者、光章於子孫彼下地不可有違亂煩者也。
仍寄進狀如件。

和田十郎右衛門尉

長祿二年二月廿二日 光章 在判

三月十五日。足利義政、山城天龍寺に、同寺領
石川郡横江莊を還付す。

【天龍寺文書】 山城 九〇八

天龍寺領備中國成羽庄并加賀國横江庄、近江國健部庄保
司方、丹波國六人部庄内四ヶ村寺分、若狹國岡安名、同打
越分等事、所返付也。早如元寺家可令領掌之狀如件。

長祿二年三月十五日

右近衛大將源朝臣 在判

三月廿九日。幕府、山城勸修寺に、鎮守八幡宮
造營料として加賀の段錢を寄進す。